

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)	
					知	思	態		
1 学期	4 月	1	世界は美しいと	・読の意味や市の構成に注視しながら内容を捉え、詩を読み深める。	○			・理解したり表現したりするために必要な語句を増やし、詩の特徴を生かして朗読している。(観察、テスト)	
		1 広がる学びへ							
		4	握手 漢字に親しもう1	・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方や価値観について考える。	○		○ 読	・抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。(ワークシート、テスト) ・登場人物の聴き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら解釈している。(ワークシート)	
		1	【聞く】意見を聞き、適切さを判断する	・意見や根拠に着目しながらスピーチを評価し、よりよいものにするための助言を考える。	○		○ 話聞	・多様な考えをもつ聞き手の存在を想定しながら、意見と根拠、理由付けの適切さを判断し、改善策を検討している。(ワークシート) ○ 聞き取った内容や意見と根拠の適切さを評価し、今までの学習を生かして助言しようとしている。(観察、ワークシート)	
		1	文法への扉1 「走って」いるのは誰?	・文法的な観点から表現を見直す意義を考える。	○			・既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。(ワークシート、テスト)	
		3	説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	・話題に関する信頼性の高い情報を収集し、聞き手に理解してもらえよう論理の展開などを考えて、工夫してスピーチをする。	○		○ 話聞	・情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切に確認して、必要な情報を集めている。(観察、ワークシート) ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。(発表、ワークシート) ○ 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、自分の考えを伝えようとしている。(発表、ワークシート)	
	5 月	1	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	相手との関係や場に応じた言葉遣いの必要性を理解し、実生活で使いこなせるようになる	○			・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。(ワークシート、テスト)	
		2	学びて時に之を習ふ -「論語」から 漢文の訓読	・歴史的背景に注意しながら「論語」を読み、人間の生き方についての行使の考えに触れる。	○		○ 読	・歴史的背景を押さえながら、書き下し文や訓読文、現代語訳を読み、「論語」の世界に親しんでいる。(ワークシート、テスト) ・人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。(ワークシート)	
		2 視野を広げて							
		3	作られた「物語」を超えて	・具体と抽象の関係など、論説の特性を踏まえながら、文章の構成や論理の展開を評価する。	○		○ 読	・ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。(ワークシート、テスト) ・論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。(ワークシート、テスト)	
1	思考のレッスン 具体化・抽象化	・教材を踏まえて練習問題に取り組み、具体と抽象の関係について確認する。	○			・具体と抽象の関係や論理の展開のしかたなどを捉えている。(ワークシート)			

6 月	4	論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書 く	着眼点を決めてグラフを読み、自分なり の問いを立てながら分析し、小論文にま とめる。	○ 書	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある文章にするために、論 理の展開や意見と根拠、その結び付き を考えながら、文章の構成を工夫して いる。(ワークシート) ○ ・論理の展開や意見と根拠、それらを 結び付ける「理由づけ」などを粘り強 く考え、説得力のある小論文を書こう としている。(観察、ワークシート) 	
	1	漢字 1 熟語の読み方 漢字に親しもう 2	・熟語における音訓の組み合わせについ て理解し、文や文章の中で活用できるよ うになる。	○	・漢字の音訓や、熟語における音訓の 組み合わせに注意して、漢字を読んだ り書いたりできている。(ワークシ ート)	
	3 言葉とともに					
	4	俳句の可能性 〔書く〕俳句の創作教室 俳句を味わう	・俳句の特徴について理解を深め、内容 や表現の仕方を評価するとともに、それ らを踏まえて俳句を詠む。	○ ○ 書	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句で使われている語句の意味を理 解したり、豊かなイメージを喚起する 効果的な語句に着目したりしている。 (ワークシート、テスト) ・自分の思いや考えがわかりやすく伝 わるように、語句や表現を工夫して俳 句を創作している。(ワークシート) ○ ・進んで表現のしかたなどを評価し、 鑑賞文を書いたり俳句を創作したりし ようとしている。(ワークシート) 	
	2	言葉の釣り糸を垂らす	感覚や概念を表す語句に着目しながら、 文章に表れた作者のものの見方や考え 方を捉える。	○ 読	・筆者の「書く」ことに対する考えに ついて、自分の記憶や経験を踏まえな がら考えている。(ワークシート)	
	1	言葉 2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	・それぞれの語の成り立ちや特徴、語感 などについて理解を深め、適切に使い分 けられるようになる。	○	・和語・漢語・外来語、言葉の変化に ついて理解し、相手や場面に応じて適 切に使い分けている。	
情報×SDGs						
	3	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 情報整理のレッスン 情報の信頼性	・複数の新聞記事を比較しながら、実用 的な文章の構成や論理の展開、表現の仕 方について評価する。	○ 読	・事実や事例の選び方、取り上げ方 や、語句・写真の選び方、レイアウト などに着目して批判的に記事を読み、 書き手の意図について考えている。 (ワークシート)	
いつも本はそばに						
	1	読書を楽しむ	・豊かな読書活動を築くために、読書に 関する計画を立てる。	○	・読書活動を通して、読書の楽しさや 意義を発見している。(観察)	
	1	「私の一冊」を探しに行こう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう コラム ためになるって どんなこと?	・さまざまな本の探し方について知ると ともに、読書の習慣を身に付ける。	○	・進んで本の探し方について理解し、 今までの学習を生かして本を選んだり 読んだことを書評などにまとめたりし ようとしている。(ワークシート)	
8	4 状況の中で					
	2	挨拶-原爆の写真によせて	・比喩や象徴的な表現の文脈上の意味を 捉え、作者の思いを捉える。	○ ○ 読	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の辞書的な意味や語感を踏まえ て、文脈の中で意味や効果を考 えている。(ワークシート、テスト) ・現代社会の状況と重ね合わせなが ら詩を読み深め、作者の思いや考 えに対する自分の考えをまとめている。 (ワークシート) 	
	5	故郷	・時代背景を踏まえながら小説を批判 的に読み、時代や社会の中で生きる人間 の姿について考える。	○ 読	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」が考える「希望」や望む社会 の在り方などについてどう考えるか、 根拠に基づいて自分の意見を述べて いる。(ワークシート、テスト) ○ ・今までの学習を生かして小説を批評 したり、自分の考えをまとめたりし ようとしている。(ワークシート) 	

9月	2	〔推敲〕論理の展開を捉える	・論理の展開に着目して文章を推敲し、目的や意図に応じた表現になっているかを確かめる。	○書	・論理の展開について、読み手からの助言を踏まえて自分の文章のよい点や改善点を確かめ、必要に応じて整えている。(ワークシート)
	1	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	・伝統的な表現の意味を理解するとともに、実生活に活用できるようになる。	○	・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。(ワークシート、テスト)
	1	聞き上手になる 質問で相手の思いに迫る	・相手や場に応じた言葉遣いを身に付けるとともに、話の展開を予測しながら聞き、適切な質問を考える。	○話聞	・話の展開を予測しながら聞き、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。(観察、ワークシート)
	1	漢字2 漢字の造語力	・組み合わせることで熟語となる漢字の特性について理解を深める。	○	・漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。(ワークシート、テスト)
5 自らの考えを					
10月	3	複数の意見を読んで考えよう -正解が一つに決まらない課題と向き合う	・三つの文章に表れた筆者のものの見方や考え方と自らの知識や経験を比べながら、自分なりの考えを導き出す。	○読	・観点を決めて文章を比較したり、自分の知識や経験と照合したりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えている。(ワークシート)
	5	考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	・観点を選んで題材を分析し、構成や表現を工夫しながら批評文を書く。	○	・「意見と根拠」「具体と抽象」などの既習事項を生かして論理の展開を考えている。(ワークシート)
	1	漢字に親しもう3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	・練習問題に取り組むことをとおして、これまで学習した文法事項を振り返り、定着させる。	○	・3年間で学習した漢字や文法の内容を理解し、学習課題に生かそうとしている。(ワークシート、テスト)
	1	聴きひたる 初恋	・言葉の響きやリズムを味わいながら読み、描かれた情景や作者の心情などを解釈する。	○	・語句や表現に着目したり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら詩に描かれた情景や心情を想像している。(ワークシート、テスト)
6 いにしえの心を受け継ぐ					
11月	1	和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序	・時代の異なる歌集の特徴を理解し、「仮名序」における和歌の定義を読み取る。	○	・三つの歌集の特徴や歴史的背景、和歌に対する古人の思いを捉えている。(ワークシート、テスト)
	2	君待つと -万葉・古今・新古今 和歌の表現技法	・和歌の詠まれた背景を踏まえ、作者の心情を読み取り、表現の効果や技法について評価する。	○	・三つの歌集の歌を音読したり、比較したりして、そこに詠まれた情景や心情を想像している。(ワークシート、テスト)
	3	夏草 -「おくのほそ道」から 俳句と俳諧	・表現の仕方や文体の特徴に着目しながら、文章に表れている作者のものの見方や感じ方を捉える。	○	・歴史的背景に注意して作品を読み、作者が何に感動したのかを理解している。(ワークシート、テスト)
	1	つながる古典 古典名作選 〔書く〕古典の言葉を引用し、メッセージを贈る	・これまで学習した古典の文章から、気に入った言葉や心に引いた表現を選び、相手や目的に応じたメッセージの中に取り入れる。	○書	・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。(ワークシート)

2
学
期

					○ ・長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かしてメッセージを書こうとしている。(ワークシート)
	7 価値を生み出す				
	4	それでも、言葉を	抽象的な概念を表す語句について理解を深めながら、言葉に対する自分なりの意見を導き出す。	○	○ 読 ・抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。(ワークシート、テスト) ・文章を批判的に読んだり話し合ったりすることをとおして、言葉に対する自分の意見を確立している。(ワークシート)
	1	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4	・練習問題に取り組むことをとおして、これまで学習した漢字を振り返り、定着させる。	○	・3年間で学習した漢字に関する学習事項を理解し、実生活に生かそうとしている。(ワークシート、テスト)
1 2 月	1	【話し合い(進行)】 話し合いを効果的に進めよう	・話し合いの例を聞き、効果的に話し合いを進めるための視点を確認する。	○	・抽象化の技能を生かし、複数の発言の共通点を抽出し、結び付けてまとめている。(ワークシート)
	4	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	・お互いの立場や意見を尊重しながら議題について話し合い、合意形成に導く。	○ 話聞	・合意形成に向けて納得できる結論を出すために、提案の意義や実現性を検討したり、互いの発言を生かしたりして話し合っている。(観察、ワークシート) ○ 合意形成に向けて考えを広げたり深めたりし、話し合いを進めようとしている。(観察、ワークシート)
	本はいつもそばに				
	1	本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう	・ノンフィクションの文章を読むことをとおして、読書が国境を越えてさまざまな状況で生きる人々の姿を伝えてくれることに気づく。	○	・読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりしている。(ワークシート)
	8 未来に向かって				
	2	温かいスープ	・当時の時代背景や筆者の置かれた状況を踏まえ、国際社会における人と人との関係について考えを深める。	○ 読	・自分の考え方や作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何かについて、自分の考えをまとめている。(ワークシート、テスト) ○ ・人間、社会などについて自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。(ワークシート)
	2	アラスカとの出会い	・本文の語句を根拠に筆者のものの見方や考え方を読み取り、人間や社会、自然に対する自分なりの考えをもつ。	○ 読	・筆者の人生において、本との出会いがどのような意味をもっていたのかを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。(ワークシート、テスト)
	1	律儀な桜	・本文の語句を根拠に筆者のものの見方や考え方を読み取り、人間や社会、自然に対する自分なりの考えをもつ。	○ 読	・自分の知識や経験と結び付けながら文章を読み、人と自然との関係に対する自分の考えをもっている。(ワークシート、テスト)
	1	わたしを東ねないで	・言葉や表現の特徴に着目しながら詩を味わい、作者の思いを読み取る。	○	・選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている。(ワークシート、テスト)
3 学 期	5	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	・三年間の学習を振り返り、設定したテーマに基づいて構成や表現を工夫しながら冊子を作成し、交流する。	○ 話聞	・自分が伝えたいことが効果的に伝わるように冊子を作成するとともに、場に応じて工夫しながら話している。(ワークシート、発表) ○ ・言葉を選んだり構成を工夫したりしながら、今までの学習を生かして、文章にまとめ、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。(観察、ワークシート)

2 ・ 3 月	2	初日 漢字に親しもう5	・言葉や表現の特徴に着目しながら詩を味わい、作者の思いを読み取る。	○	・選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている。 (ワークシート)
	3	国語の力試し	・これまでの学習を踏まえ、それぞれの学習課題に取り組む。	○	・表現技法や文語のきまりなどを理解し、適切に使うことができる。(テスト)
	適宜	資料編	・これまでの学習を踏まえ、それぞれの教材に取り組む。	○	・文章における事実と違憲との関係を捉えるとともに、場面や状況に応じた言葉づかいで自分の意見を伝えること